

- (1) 本時の目標
ノリオの心情を読み取り、作品から感じたことをまとめることができる。
- (2) 本時の評価規準
【思】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。[発言・記述]
【思】登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。[発言・記述]
- (3) 本時の展開

時間	学習活動・予想される子どもの反応	☆指導上の留意点 ◎支援	評価規準 (評価方法)
3分 課題把握	1. 前時までの内容を振り返る。 【ノリオの心情や置かれている状況】を確認する。 ・戦争で両親を失った。 ・母が死んだ事実を受け入れるしかないつらさ、悲しみ 2. 学習課題を知る。 ④ ノリオの心情を読み取り、作品から感じたことをまとめよう。 話し合うテーマ：「ノリオはどのような気持ちをもって生きているのだろうか。」	☆これまでの学習からノリオの心情や置かれている状況を押さえる。 ◎既習内容はまとめて提示し、振り返りやすくする。 ◎めあてを読みながら書き、同じ速さでノートに書き写させる。 ☆ノートにめあてを書き、本時の流れを確認させて見通しをもたせる。 ☆全員で声を出してめあてを読み、学習課題を認識させる。	
12分 自力解決	3. 『また、八月の六日が来る』を全員で黙読する。 4. 「ノリオはどのような気持ちをもって生きているのだろうか」について、考えを書く。 	☆黙読時は、テーマを意識させて根拠になりうる文章に線を引かせる。 ☆シンキングツールを活用し、自身の考えを可視化する。 ☆文章中の番号のどの叙述から考えをもったのか根拠を示しながら、シンキングツールに書くように指導する。 ☆机間指導を行い、ノリオの心情について児童が自分なりの表現で書いている部分や主題に迫る意見を中心に線を引く。 ◎発表に自信がもてるように声をかけながら線を引く。 ◎考えを書くことに苦手意識をもつ児童には、一度言葉で説明させることで学習課題に取り組める配慮と支援を行う。	【思判表C(1)オ】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。[記述]
25分 集団解決	6. グループで交流する。 7. 全体で話し合う。 	☆グループの話し合いは、司会・記録・時計を役割分担して進めさせる。 ☆話し合う論点を意識して交流する。 ☆話し合いの流れを確認して進める。 ☆発表者には、聞き取りやすいように声量や体の向きなどに留意させる。 ☆聞くときは、発表者の方を向いて自分の意見と比較しながら聞き、挙手のハンドサインで自分の意見と比較した考えを表す。 ☆教師は、発表の要点を押さえながら板書をまとめ、児童の理解を促す。 ◎論点がずれた場合は、軌道修正する。 ◎児童の話し合いが途切れた場合、補助発問や切り返しの発問をする。 ☆「最後の四文からどんなことを感じるか。」「なぜ、題名が『川とノリオ』なのか。」という補助発問を提示し、戦争で大切なものを奪われても、なお力強く生きた人々の思いに気づかせることで主題に迫る。	【思C(1)カ】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。[発言・記述]
5分 ふりかえり	8. 学習を振り返る。 【振り返りの評価例】 B・私は母に会いたいという思いがあるとは思っていたけれど、□□さんの147,148の部分は同じ言葉が繰り返されているので、母と会いたいという気持ちがとても強いという意見を聞いて共感しました。それほど、ノリオは母ちゃんのことを思っていて忘れられないのだと感じました。 A・川はノリオの心情を表すだけだと思っていたけれど、〇〇さんの意見のようにいつもノリオのそばにいる存在だったのだと気づきました。そういった存在に支えられ、厳しい現実と向き合い、生きたノリオや多くの人々がいることを知り、私も負けずに歩いていきたいと感じました。 ・母ちゃんへの思いを振り払おうとしても、何度も思い出してしまうノリオがいるという△△さんの意見にはっと驚き、納得しました。それほど大切な人を失っても生きていくしかなかった当時の人々の思いを忘れず、今の当たり前だと思っている毎日を大切にしていきたいと思いました。	☆本時の学習で自身の考えが更新されたり、変容したりした部分を中心に振り返りを書かせる。 ☆振り返りを発表する時間を設ける。 ◎振り返りを書くことに苦手意識がある児童には、板書を参考にさせながら、言葉での説明も含めて支援を行う。	【思判表C(1)オ】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。[記述・発言]